

件 名	豚コレラについて
受付日	平成 31 年 1 月 4 日
ご意見・ご提案の概要	職員・自動車・器具が、養豚施設を豚コレラウイルス汚染した可能性があるのではないか。
県の考え方	<p>今回発生した豚コレラの感染経路については、農林水産省の「拡大豚コレラ疫学調査チーム」によって調査が進められておりますが、現時点においては、野生いのししなどによってウイルスに汚染された周辺環境から、野生動物や人・物を介して施設や農場にウイルスが侵入した可能性は否定できないとしながらも、未だ結論は出ていない状況です。</p> <p>県では、農家へ立ち入る検査員がウイルスを媒介することがないように、農場ごとに検査員を固定しているほか、検査を行う際には、防疫服の着用や養豚場を出る際の身体、衣服、靴、眼鏡等の消毒、車両の消毒といった、国の「豚コレラに関する特定家畜伝染病防疫指針」を遵守しており、引き続き徹底を図ってまいります。</p> <p>今後も感染経路の特定のため、「拡大豚コレラ疫学調査チーム」による調査に協力するとともに、豚コレラの拡大防止対策に全力で取り組んでまいります。</p>
担当課	農政部 畜産課